



奈良県版

No. 375

2024年4月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
奈良県本部
〒631-0033
奈良市あやめ池南1-9-27
加藤宜之 気付
☎ 0742-43-0762
振替 0990-2-209460
治安維持法国賠同盟
奈良県本部

われわれの運動の基本

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること
- 三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと

署名・会員拡大の自主目標達成特別期間「4月～6月」を成功させ 自主目標の会員500名、署名4,000筆達成を

国賠同盟日本部会長 加藤宜之

2月25日に開催された治安維持法国賠同盟中央常任理事会では、5月15日の国会請願と6月19・20日の第41回全国大会開催に向け2万人会員の早期実現をめざし、署名・会員拡大の自主目標達成特別期間（4月1日～6月30日）が設定されました。

国会請願署名の到達点は3月31日現在、奈良県では個人署名目標の4,000に対して1,150筆〔28.75%〕、団体署名目標の40筆に対して35筆〔87.5%〕の達成となっています。

1972年に始まった国会請願署名は51回目を数え、署名の累計数は1,000万筆を超えました。しかし歴代日本政府は、あの15年戦争が侵略戦争であったこと、治安維持法が人道に反する悪法であったこと、も、いまだに認めようとしていません。

それどころか岸田政権は安保関連3文書の改定を閣議決定し、憲法違反の敵基地攻撃能力の保有や経済秘密保護法を制定し、同盟国の軍需産業を統合する大軍拡路線を推し進めています。

国賠同盟は、ふたたび戦争と暗黒政治を許さないためにも、毎年5月の国会請願にむけ、奈良県の衆議院・参議院議員事務所を訪問し、粘り強く国会請願活動を推進しています。（次ページへ続く）

現在のところ署名目標達成にはまだまだ開きがありますが、自主目標達成には労働組合や民商、新婦人、民医連の病院、診療所など県下の多くの民主団体に協力を願いして署名を推進すると同時に会員一人一人が家族や知り合いに国賠署名の意義を訴え、5人分、10人分の署名を集めていくことが大切です。

また署名推進活動と同時に特別期間中の会員拡大で2万人会員の早期実現が提唱されましたが、県同盟としても昨年8月の前回総会で自主目標として500名会員の目標が設定されており、何としても会員拡大目標をやり遂げなければなりません。

国賠同盟中央本部では会員拡大特別期間〔4月1日から6月30日〕中に会員拡大で5人拡大、10人拡大の表彰基準に該当する会員登録を応募しています。

第41回全国大会成功のため、自主目標達成のため多くの方が積極的に挑戦していただけます。

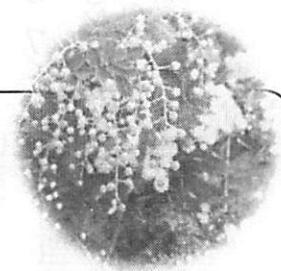
国際女性デー奈良県集会が開かれる

3月8日、JR奈良駅前で、国際女性デー奈良県集会が開かれました。ミモザを身につけ120人が集まりました。

農民連からは、茶農家の女性が、政府の「食料安全保障」政策に関して、「もし緊急事態にサツマイモを作れと言われても、それは難しい」と報告しました。

また、「成人誌」のコンビニでの販売が依然として行われている事を調査した新婦人奈良県本部の小幡尚代事務局長は、「女性の尊厳をおとしめ、性暴力を娯楽とすることに強い不快感と憤りがある」と訴えました。

国賀奈良県本部の伊藤事務局長は、「治安維持法犠牲者は、命がけで反戦を訴え平和を見ることなく、血で染められた平和のバトンを私たちに手渡したのです。私たちはそのバトンを次の世代の人達たちに手渡すために行動し、今日もこの場に立っています」と前置きし、自衛隊名簿提供の『RYU裁判』について発言しました(『RYU裁判』の詳細は次々頁に)。また、ミモザに寄せた女性たちの集会をみて、アメリカニューヨークから来た女性観光客は「私たちも世界が平和になることを願っている」と語りました。



3・10原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい

500人以上の参加で大盛況

「原発ゼロ」の集会に参加して 奈良県本部理事 杉下ゆき子

2024年3月10日に、JR奈良駅東口広場で開催された「原発ゼロ・被災者支援 奈良のつどい」に参加しました。感想をまとめるに当たって、当田頂いた資料の、

福島県、宮城県、岩手県、小浜市からのメッセージや、避難を続けておられる森松明希子さんからの訴えを読み、改めて、今動いている原発をすべて止めなくてはと思いました。

今年の元日に起きた、能登半島地震では、お正月気分が吹っ飛びました。でも、原発に関しては、福島原発のようなテレビで見ても心臓がドキドキする不安は無く胸をなで下ろしました。それは、たまたま、珠洲市に原発を作らせない運動が実ったからであり、志賀原発は、13年前から全国で起つた「原発いらない」の運動で、稼働していなかつたお陰です。

次期戦闘機などに税金を使わず、被災者支援や今後の減災に使ってほしいです。

それでも深刻なトラブルがあったと「つどい」のアピールに書かれています。もし、志賀原発や、柏崎刈羽原発が稼働中だったら、「ほんとに恐ろしい」となっていたでしょう。

そう考えると、若狭湾沿岸の原発銀座は老朽ながら、何台も動いています。若狭湾には地震が来ないという保障はありません。直ちにすべての原発を止めて廃炉にすることが、能登地震を体験した日本にとっての教訓ではないですか！

能登半島地震の直後からの政府や県の対応は、阪神や東日本を体験しているのに、少しも進歩が無く、相変わらず体育館での雑魚寝、トイレの不足など、ほんとに腹が立ちました。



自衛隊名簿提供違憲訴訟

(RYO裁判)提訴報告集会

全国が注目、裁判勝利へ

決意新たに

県本部事務局長 伊藤恵美子

3月29日、奈良市在住の18歳の高校生（「シクネームRYO」）が自分の個人情報を承諾なしに奈良市が自衛隊奈良地方協力本部に提供したのは違法・違憲だとして、市と国を相手取り、国家賠償を求める訴訟を奈良地裁に起きました。

当事者である若者本人が原告となつてたたかう全国で初めての裁判です。

同日午後一時に奈良地裁に提訴。原告弁護団と支援者は「18歳・高校生が国・市を訴える／自衛隊への名簿提供は憲法違反」の横断幕を掲げて奈良地裁へと提訴行進を行つた様子はトレビでも報道され、観光客や市民にアピールしました。

提訴直後の記者会見と提訴報告集会の会場となつた奈良県教育会館の大会議室は、原告弁護団、県内各地や滋賀、大阪から支援者、報道各社の記者で満杯となり、熱気じみあれました。

支援する会や弁護団の代表挨拶に続いて弁護団事務局長の諸富健弁護士から本件訴訟の概要が解説されました。そこで記者や参加者からの質問への弁護団の回答や意見交換を通してこの裁判の意義を深く学び合いました。また、提訴にあたつての原告RYOと家族の「メメント（代読）」は、集会参加者の感動を呼びました。

兵庫の住民訴訟の報告や東京集会開催など、運動を全国に広げる」とを確認するなど裁判勝利へ決意を新たにしました。

提訴に当たつて…原告
(RYOさんの)パメント
自衛隊からの勧誘はがきが届いたとき

は、自衛隊に行く気もありませんでしたし、特に何も思ひませんでした。しかし、その

後よく考へてみると、自分の個人情報が

自衛隊に本人の承諾もなしに渡りてしる

いとがすくおかしこと思つました。

自衛隊の印象は、災害救援で活躍してじゆとこなじめじで、それ以上のことを

は知りませんでした。自分は戦争はない方がよこと思つてます。争いとは話しあいで解決すべきと思つてるので、武器を持つてたたかう自衛隊に参加するつもりはありません。自衛隊から勧誘のはがきが届いた」とは、やつぱり怖いなと思つています。

全国で自分と同じような年齢の、若者の個人情報が自衛隊に提供されてるの

はおかしく感じてます。
自分が原告にならうとした、若者の個人情報提供を止めるよう努力するために少しでもお役に立てるのなら、とこう気持ちで原告にならうとを決意しました。

原告弁護団と支援者
横断幕を掲げて奈良地裁に向かう



全国の精銳弁護士 13人の
弁護団の内6人が参加、支援
者も県内外から集会にかけつ
けました。オンライン参加も
多数ありました。



山添村が「自衛隊への名簿提供を止める」

募集体制強化と圧力で自衛隊名簿の提供が全国で急増する
中で、3月議会最終日に山添村長が自衛隊への名簿提供を止め
ると言明しました。極めて重要な決断に敬意を表します。

書籍の紹介

著者

竹末 勤（奈良県近代史研究会）
岡田雅一（奈良県戦後史研究会）
中村彰宏（奈良県戦後史研究会）

ご希望の方は
加藤 0742-43-0762
伊藤 0742-31-2393

頒価：500円

奈良教育大学の宮下俊也学長は、県教育委員会から指摘を受けて、同大附属小学校で実施していた教育課程について調査し、学習指導要領に照らして「不適切」だと、1月17日に発表。その後「3年間で、同校正規教員19人を他校へ出向させる」としています。

名古屋大学名誉教授上田健男氏は、「教育課程とは各学校の創意でつくるのが原則、不当な介入があってはならない」と言われます。そもそも10年に一度の間隔で改定される指導要領で日進月歩で進んでいく学問や科学技術についていけないとしています。そして、「奈良教育大学付属小学校は、その教育課程づくりの大原則を大切にしてきた学校として有名です。実験的・先導的な教育を行い、まっとうな道を追求してきた」と高く評価されています。

奈良教育大付属小 教員強制出向問題 —子どもの願い実現をめざす学校を守ろう—

元教師ら関係者が「奈良教育大付属小を守る会」を結成。教員出向人事をやめようと7444人の署名を大学当局に提出しました。大学側は、建物の外で受け取るという不誠実な対応でした。

同付属小元教頭の坂下伸一氏は「教育課程は、校長も管理職も一緒に議論している。当人が納得しない人事には反対だ。話し合いが必要。子どもたちに被害を及ぼす」と話しました。

一人ひとりの子どもの発達に即して独自の教材や授業などによる教育課程が実施されている同校の教育を守る市民集会(3月31日)には、第1会場から第3会場まで増設するほど大勢の方が集まりました。

季節の 言の葉

うりづんの平和と雨はつきまじし
鉄の雨さえ遮るものなし

孫の卒業記念に

久しぶりに沖縄に行きました。

まさに鉄の雨の写真。

語り部さんは

おられなくなりましたが、
孫も私も忘れません。

川 柳

ありがたし入れ歯イラズでバナナ食う

二階さん本性丸出しでバカ野郎!?

大谷はよきに計えで6億超

奈良の愚僧

裏金がバレても大物白を切る

戦争の口車に乗るは愚か者

株高は庶民にとつて絵空事

郡山支部 杉本英雄

編 集 後 記

7月に開かれる『平和のための奈良市戦争展』に奈良教育大附属小学校の子どもたちは毎年やってきます。

開館と同時にメモ帳を握りしめ、パネルや展示物をみながら熱心にメモをとります。

「あ、峰三吉さんの詩だ」「ホラ、谷口稜嘆さんや」と、きちんと『さん、づけで呼び、すみてるさんと難しい字も覚えていました。谷口稜嘆さんのあの背中全体赤く焼けただれた写真も、目をそらすことなくしっかりと真実を見つめます。

戦争体験を聞くときも、しっかりとメモをとりながら、真剣です。感想文を読むと、ハッとさせられる事も多く、子どもたちを通して、付属小学校の平和教育実践のすばらしさを感じます。教育の力ってすごいなあと思うと同時に、この子どもたちのために、平和のための戦争展はどんなことがあっても続けていかなければと闘志がわいてきます。

今、その子どもたちの小学校の先生たちが、強制出向されようとしています。今回のことが子どもたちに被害を及ぼすと危惧しています。文部科学省などの大きな圧力に疑惑を抱いています。

権力が教育に介入する時、それは戦争への道だと私たちは歴史から学んできました。教育を守ること、学校を、先生を、子どもたちを守ることは平和を守ることです。

私たちもこの運動にしっかりと支援していきましょう。

E・I

署名数・会員数の到達

(3月31日現在)

団体署名 35 (増3)

個人署名 1150 (増145)